

りんご・なしの落果防止、新梢伸長抑制、りんご「ふじ」のつる割れ軽減に!

ヒオモン[®]

水溶剤



特長

- ① りんご、なしの収穫前の果実落果を短期間で抑えます。
- ② 新梢の伸長を抑え、なしの摘芯回数の軽減やりんごの二次伸長の抑制に効果的です。
- ③ りんご「ふじ」のつる割れの発生を減らします。
- ④ 果実が過熟になりにくく、日持ちが低下する心配がありません。

®アグロ カネショウ(株)の登録商標

ヒオモン[®] 水溶剤

物理的・化学的性状：類白色水溶性粉末
 成分：1-ナフタレン酢酸ナトリウム・・・4.4%
 界面活性剤等・・・・・・・・・・95.6%
 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

適用及び使用方法

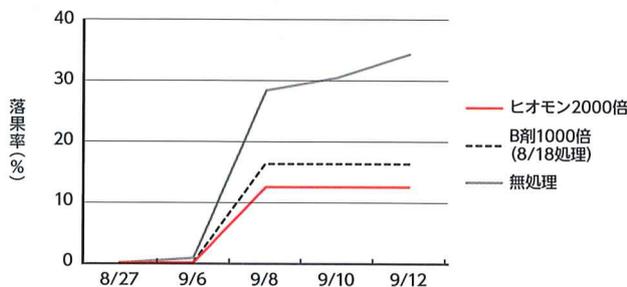
作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	1-ナフタレン酢酸を含む農薬の総使用回数
りんご	つる割れ軽減	3000~5000倍	300~600 ℓ/10a	満開20~30日後	1回	立木全面散布	3回以内
	収穫前落果防止	1000~2000倍		収穫開始予定日の21~4日前	2回以内		
なし	新梢伸長抑制	2000倍	200~300 ℓ/10a	二次新梢伸長時	1回	立木全面散布 又は 枝別散布	2回以内
	収穫前落果防止	1000~2000倍		新梢伸長時	2回以内	立木全面散布	

令和2年7月末日現在

試験成績

①りんごの落果防止

- 試験場所：青森県農林総合研究センターりんご試験場（平成17年）
- 供試品種：つがる（23年生） ■処理日：8月23日 ■処理方法：樹全体に滴り落ちる程度散布
- 調査方法：経時的に3樹全体の落果数を調査



【日持ち性調査】(収穫7日後調査)

処理区	着色* (1-6)	地色* (1-8)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix)	酸度 (%)	ヨード反応 (0-5)	油上がり (0-3)
ヒオモン2000倍	4.0	3.3	13.6	14.0	0.25	2.4	0.1
B剤1000倍	5.0	4.6	10.1	14.1	0.22	0.5	2.1
無処理	4.0	4.0	12.5	14.4	0.25	2.2	0.1

*:ふじ用表面色カラーチャート指数

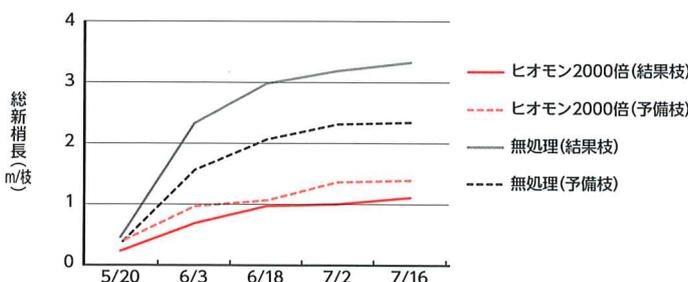
②なしの落果防止

- 試験場所：新潟県農業総合研究所園芸研究センター（平成17年）
- 供試品種：王秋（13年生） ■処理日：10月11日 ■処理方法：主枝全体に十分量散布
- 調査方法：11月27日に2主枝の落果数を調査、11月28日に果実品質を調査

処理区	累積落果率 (%)	果重 (g)	果肉硬度 (lbs)	果皮付硬度 (lbs)
ヒオモン2000倍	5.2	782.5	4.3	7.2
無処理	20.8	773.4	4.3	7.3

③なしの新梢伸長抑制

- 試験場所：栃木県農業試験場（平成26年）
- 供試品種：幸水（26年生） ■処理日：5月20日
- 処理方法：主枝全体に滴り落ちる程度散布
- 調査方法：経時的に結果枝5本、予備枝5本からの定芽の新梢長を調査



【果実品質調査】

処理区	収穫盛期	果重 (g)	果色 (C.C)	糖度 (Brix)	酸度 (pH)	硬度 (lbs)
ヒオモン2000倍	8/21	414.6	2.7	12.2	5.3	4.2
無処理	8/27	439.5	2.8	11.3	5.3	4.2

効果・薬害等の注意

- 本剤の所要量を所定量の水に希釈し、よくかき混ぜてから散布してください。調製した薬液はその日の内に使用してください。
- 本剤は植物ホルモン剤であり散布条件によって薬効薬害に影響が現れやすいので他剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減らすので、天候を見極めてから散布してください。
- 使用の際は薬液が葉先から滴り始める程度にむらなく、樹全体に丁寧に散布してください。
- 極微量で植物ホルモン効果を示すので周辺作物にかからないようにしてください。
- 極端な高温時の散布はさけてください。
- りんごに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - 摘果目的でNAC剤を使用した場合は、NAC剤の効果(果実軸部分の退色、軽い接触での落果等)を確認してから本剤を処理してください。ただし、本剤の使用時期を逸さないでください。
 - 収穫前落果防止を目的に2回使用する場合は、収穫開始予定日の21~14日前に1回目の散布を行い、薬効を確認してから必要に応じて1回目の散布7~10日後に2回目の散布を行ってください。
 - つる割れ軽減を目的に使用する場合は、気象条件等により果実肥大が抑制される場合があるので注意してください。
 - 新梢伸長抑制を目的に使用する場合、樹勢が旺盛な樹には効果が劣るので注意してください。
 - 本剤を散布した後に、葉が黄化したりおれたりする場合がありますが、本剤の生理活性の現れであり、果実の生育には影響ありません。
 - 下記に記載した品種以外に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 効果の確認されている品種
 「収穫前落果防止:きおう、つがる、王林、紅玉、陽光」
 「つる割れ軽減:ふじ・早生系ふじ」
 「新梢伸長抑制:ふじ」

- なしに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - 収穫前落果防止を目的に2回使用する場合は、収穫開始予定日の21~14日前に1回目の散布を行い、薬効を確認してから必要に応じて1回目の散布7~10日後に2回目の散布を行ってください。また、散布した後に、葉が黄化したり落葉する場合がありますが、果実の品質に影響は認められません。ただし、品種「秀玉」では落葉が著しい場合があるので使用しないでください。
 - 新梢伸長抑制を目的に使用する場合、果実肥大期以降に散布すると効果が劣るので、時期を逸さないよう注意してください。
 - 下記に記載した品種以外に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 効果の確認されている品種
 「収穫前落果防止:王秋、幸水、おさゴールド、ラ・フランス、ル・レクチェ」
 「新梢伸長抑制:幸水、夏さやか、あきづき」
- 極端に樹勢の弱い樹では本剤の使用をさけてください。
- 使用後の散布器具等は十分洗浄してください。
- 本剤は植物ホルモン剤であるので、使用に際して使用時期、使用量、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 誤食などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 散布の際は農業用マスクなどを着用してください。
保管:密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷凍・乾燥した所

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。